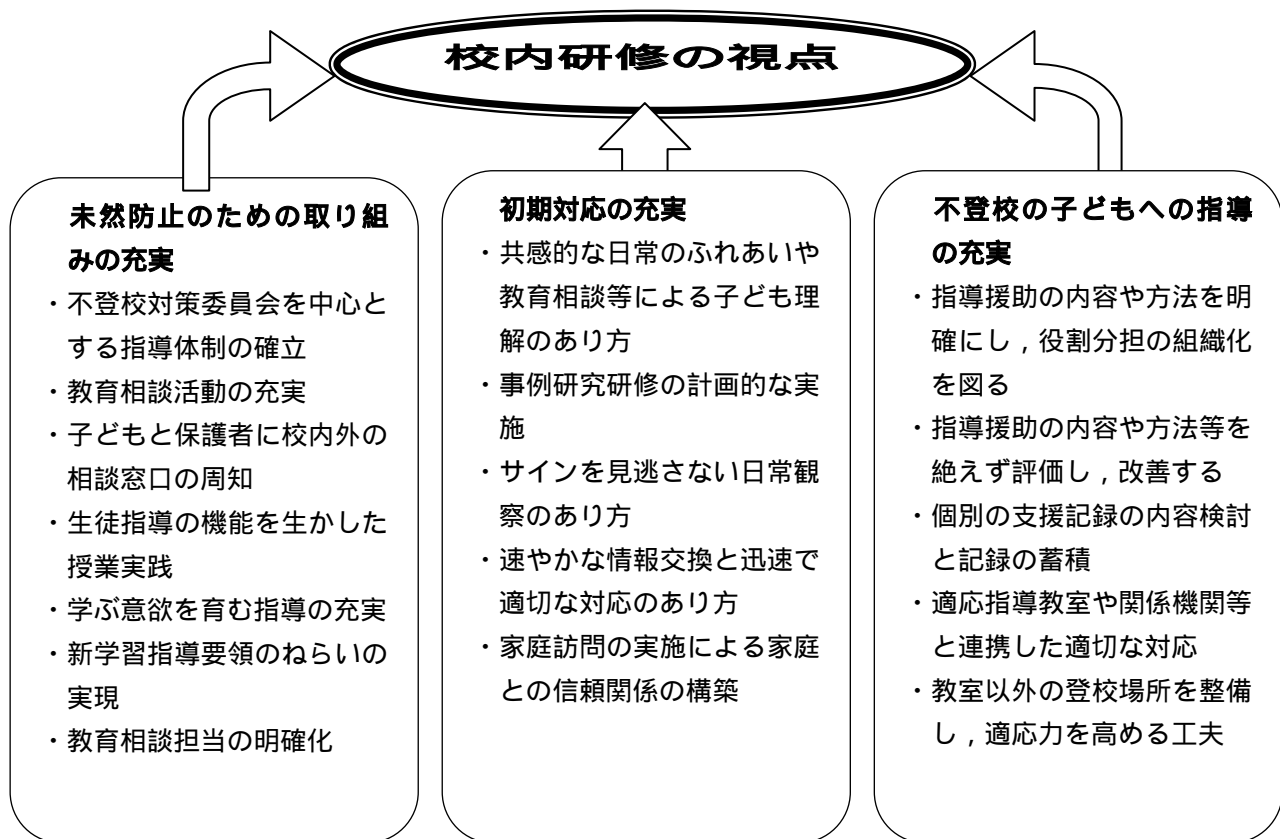


(3) 校内研修

不登校に対する正しい認識と対応について学び、実践的指導力の向上、教職員間の共通理解を図ることが必要です。そのために、不登校事例研究やカウンセリング技法の実技研修、不登校の子どもの理解と対応に関する講義等を内容とした研修会を実施することが大切です。

校内研修の視点



事例研究

不登校の諸要因を正しく理解し、適切な対応（指導・治療・カウンセリング等）の方向性や、そのための具体的方法を見出すため、その子どもに関するさまざまな情報を収集し、分析・検討を行います。

〔事例研究の主な意義〕

- ・ ある不登校の事例をいろいろな角度から見るができる。
- ・ その子どもに合った指導方法を見出すことができる。
- ・ 事例研究で出された意見を参考に指導・援助するので、教職員間の連携と共通理解を深めることができる。
- ・ 子ども理解と実践的指導力の向上に役立つ。

事例検討会の進め方（例）

〔構成〕

- ・ 事例提供者（資料の作成，検討してほしいことをまとめる）
- ・ 参加者（全員が助言者となる）
- ・ 助言者（専門家を招いて指導・助言を受ける場合もある）
- ・ 司会（進行役），記録者



〔事例研究の流れ（2時間）〕

〔進行上の留意点〕

